

未来の自分に誇れる今を

校長 小高 剛

昭和22年、戦後の新学制の下に開校した本校は、本年度、創立80年となります。桶川の未来、日本の未来を本校に託した開校当時の町の人々にも思いを馳せつつ、本校の生徒が未来の自分に誇れる今を、すなわち中学校生活を送ることができるよう支援し、教育活動に取り組んでまいります。

本校の学校教育目標は、【学ぼう未来へ 育てよう心と体】です。未来・将来は今の積み重ね。未来の自分が、あのときの自分はよく頑張ったなと思えるような今を、中学校生活を過ごしてほしいとの願いを込め、【未来の自分に誇れる今を】という副題を設けています。

生徒たちが中学校生活で様々なことに挑戦し、学力・豊かな人間性・逆境に負けない強い心と体を育み、社会的自立の礎を築くことを期待し、本年度も生徒に次の3点を伝えました。

1 学校は学ぶところであること。知識と知恵を身に付けるところであること。

物事を知っている(知識)だけでなく、知識を使って考えたり他者と協力したりして課題を解決する力(知恵)が必要。どちらも身に付けてこそ、人生や社会の未来をよりよく切り拓いていける。

2 自分と他人のよさや違いを認め、協力し合うこと。

人はみな顔が違うように、考え方や個性もみな違う。みんな違ってみんないい。違うからこそ世の中は面白い。互いの存在や立場を認め合い、支え合い、高め合う集団に成長してほしい。

3 粘り強くやり抜くこと。

自分には無理だと決めつけない、諦めない。自分でやると決めたことを粘り強くやり抜く。毎日の小さな努力の積み重ねが自分を大きく成長させる。中学校生活は未来の自分のための土台作り。

目指すは生徒が主役の桶川中学校。人は誰でも、「よさ」や「可能性」をもっています。生徒たちには仲間とともに学習や特別活動、部活動などに励む中で、自分のよさや可能性を伸ばしてほしいと願っています。そして、私たち教職員は、そのよさや可能性を引き出せるよう努め、支援してまいります。保護者・地域の皆様には、生徒たちの未来・将来のための「今」を応援するとともに、社会に貢献する生徒の育成に向け、御支援を賜りますようお願いいたします。

学校教育目標

学ぼう未来へ 育てよう心と体
～未来の自分に誇れる今を～

【基本理念】すべては生徒の笑顔のために

【めざす生徒像】主体的に学び、社会に貢献する生徒

【めざす学校像】生徒が主役、地域の誇り桶川中学校

【めざす教師像】生徒の可能性を引き出し、職務に全力で取り組む教師